

コース	年次	必修選択の別	科目名	単位数	授業科目深数	講師	実務教員授業
キャリアデザイン	2	必修	マーケティング戦略	2	30	谷口 幸広	○
キャリアデザイン	2	必修	経営戦略	2	30	谷口 幸広	○
キャリアデザイン	2	必修	ビジネスマナーⅢ	2	30	井上 由美子	○
キャリアデザイン	2	必修	ビジネスマナーⅣ	2	30	井上 由美子	○
キャリアデザイン	2	必修	プレゼンテーションⅢ	2	30	吉田 和正	○
キャリアデザイン	2	必修	プレゼンテーションⅣ	2	30	吉田 和正	○
キャリアデザイン	2	必修	外国語Ⅲ	2	30	関根 有紗	
キャリアデザイン	2	必修	外国語Ⅳ	2	30	関根 有紗	
キャリアデザイン	2	必修	外国語演習Ⅲ	2	30	山北 麻美	○
キャリアデザイン	2	必修	外国語演習Ⅳ	2	30	山北 麻美	○
キャリアデザイン	2	必修	卒業演習Ⅰ	2	30	沢井 裕	
キャリアデザイン	2	必修	卒業演習Ⅱ	2	30	沢井 裕	
キャリアデザイン	2	必修	卒業演習Ⅲ	2	30	沢井 裕	
キャリアデザイン	2	選択	ホスピタリティ経営論Ⅰ	2	30	小池 勝也	○
キャリアデザイン	2	選択	ホスピタリティ経営論Ⅱ	2	30	小池 勝也	○
キャリアデザイン	2	選択	消費者行動論	2	30	沢井 裕	
キャリアデザイン	2	選択	社会常識Ⅲ	2	30	佐藤 豪	○
キャリアデザイン	2	選択	社会常識Ⅳ	2	30	佐藤 豪	○
キャリアデザイン	2	選択	冠婚葬祭概論Ⅰ	2	30	井上 由美子	○
キャリアデザイン	2	選択	時事研究Ⅲ	2	30	谷口 幸広	○
キャリアデザイン	2	選択	時事研究Ⅳ	2	30	谷口 幸広	○
キャリアデザイン	2	選択	企業リサーチⅠ	2	30	沢井 裕	
キャリアデザイン	2	選択	接遇外国語Ⅰ	2	30	山北 麻美	○
キャリアデザイン	2	選択	接遇外国語Ⅱ	2	30	山北 麻美	○
キャリアデザイン	2	選択	就職ケーススタディⅠ	2	30	沢井 裕	
キャリアデザイン	2	選択	課程演習Ⅲ	2	30	沢井 裕	
キャリアデザイン	2	選択	課程演習Ⅳ	2	30	沢井 裕	
キャリアデザイン	2	選択	特別演習Ⅲ	2	30	佐藤 豪	○
キャリアデザイン	2	選択	特別演習Ⅳ	2	30	佐藤 豪	○
専門必修科目合計				26	390		
専門選択科目合計				32	480		
合計				58	870		

年度	2024	学期	前期
科目名	マーケティング戦略	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース（全専攻）		
講師名	谷口 幸広		

#### 講義概要

昨年度学んだ「マーケティング」をふまえ、企業が目的を実現するための指針「経営戦略」のうち「マーケティング戦略」を学ぶ。ビジネスパーソンとして、経営者による経営戦略から「どのような指針・土台をもとにマーケティングを展開していくか？」をビジネスフレームワークを用いて理解していく。

#### 達成目標

（１）用語や定義：経営・マーケティング戦略の用語や定義に慣れる。（２）フレームワーク：ビジネスフレームワークの「使いどころ」を把握し、実践に使えるよう理解を進める。

#### 学修成果

（１）ビジネスにおいてマーケティング＝「部分」理解から、「経営」＝全体・繋がりでの理解が促進（２）スピードが求められるビジネスシーンでの意思決定・行動の最適化ができる。

#### 事前学習

必要な時間：13回×10分／日々のニュース（ビジネス・社会）の確認

#### 事後学習

必要な時間：13回×30分／共有される講義資料PPTの内容確認

#### 授業計画

回	授業計画
第1回	ガイダンス：（１）昨年度マーケティング講義の概要復習（２）前提条件の共有（３）基礎用語の確認
第2回	（１）復習（２）戦略とは（３）戦術とは（４）マーケティング戦略とは／演習
第3回	（１）復習 （２）マーケティング戦略の必要性／演習
第4回	（１）復習 （２）経営戦略とマーケティング戦略の関係性／演習
第5回	（１）復習 （２）ビジネスキャンバスモデル説明／演習
第6回	（１）復習 （２）ビジネスキャンバスモデルを用いた事例研究／演習
第7回	（１）復習（２）興味関心ある企業のビジネスモデルキャンバス」の作成演習と発表①
第8回	（１）復習（２）興味関心ある企業のビジネスモデルキャンバス」の作成演習と発表②
第9回	（１）復習 （２）競合他社のビジネスモデルキャンバス作成／演習
第10回	（１）復習（２）マーケティング・マーケティング戦略視点での企業研究①／演習
第11回	（１）復習 （２）組織体制とマーケティング機能／演習
第12回	（１）復習（２）マーケティング・マーケティング戦略視点での企業研究②／演習
第13回	（１）復習（２）マーケティング・マーケティング戦略での企業研究をふまえた志望動機作成／演習
第14回	第1回～第13回講義の振り返りと要点の確認
第15回	期末試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

#### 教科書

著者名	特になし
タイトル	
出版社	

#### 参考書

著者名	オリヴァー・ガスマンほか
タイトル	ビジネスモデルナビゲーター
出版社	翔泳社

年度	2024	学期	後期
科目名	経営戦略	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース（全専攻）		
講師名	谷口 幸広		

#### 講義概要

マイケル・E・ポーター氏が提唱している「競争戦略」の基礎を学ぶ。現実のビジネスは競争状態が当然であり、卓越した業績を継続して出し続けなければ生き残れない。その為に必要なのは「業界構造の理解」と「競争優位になるための差別化・独自性の確立」となる。当該講義では「5つの競争要因」を中心にして講義・演習を行う。

#### 達成目標

(1)「業界構造」を「5つの競争要因」を通じて理解する。(2)「競争優位」を生み出すストーリー（流れ）を作れるようになる。(3)興味関心ある企業・就職希望企業が属する業界構造を分析する。

#### 学修成果

(1)短期：就職活動における「業界分析の理解深度」が促進される。(2)長期：勤務先企業において担当職務が経営戦略にどう関わるか全体像が掴め、職務遂行の質があがる。(3)経営戦略に参画した場合、長期的利益確保を検討する一助となる。

#### 事前学習

必要な時間：13回×10分／日々のニュース（ビジネス・社会）の確認

#### 事後学習

必要な時間：13回×30分／共有される講義資料PPTの内容確認

#### 授業計画

回	授業計画
第1回	(1)前期復習 (2)競争戦略論の概要 (3)5つの競争要因説明／演習（個人）
第2回	(1)復習 (2)「競争」とは何か／演習（個人・グループ） (3)復習：「戦略・戦術」
第3回	(1)復習 (2)「5つの競争要因」①（自社・競合他社／業界内の競争）／演習（個人・グループ）
第4回	(1)復習 (2)「5つの競争要因」②（買い手との交渉力）／演習（個人・グループ）
第5回	(1)復習 (2)「5つの競争要因」③（売り手との交渉力）／演習（個人・グループ）
第6回	(1)復習 (2)「5つの競争要因」④（新規参入の脅威）／演習（個人・グループ）
第7回	(1)復習 (2)「5つの競争要因」⑤（代替品の脅威）／演習（個人・グループ）
第8回	(1)復習 (2)「5つの競争要因」⑥各要因同士の繋がり（ストーリー）を検証
第9回	(1)復習 (2)「価値提案」を変更しての5つの競争要因の変化①／演習（個人）
第10回	(1)復習 (2)「価値提案」を変更しての5つの競争要因の変化②／演習（グループ）
第11回	(1)復習 (2)「3つの基本戦略」概要 (3)コストリーダーシップ戦略／演習（個人・グループ）
第12回	(1)復習 (2)「3つの基本戦略」：差別化戦略／演習（個人・グループ）
第13回	(1)復習 (2)「3つの基本戦略」：集中戦略／演習（個人・グループ）
第14回	第1回～第13回講義の振り返りと要点の確認
第15回	期末試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

#### 教科書

著者名	特になし
タイトル	
出版社	

#### 参考書

著者名	グローバル・タスクフォース
タイトル	ポーター教授の「競争の戦略」入門
出版社	総合法令

年度	2024	学期	前期
科目名	ビジネスマナーⅢ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース（全専攻）		
講師名	井上 由美子		

#### 講義概要

1年次に学んだビジネスマナーの理解をさらに深め、社会人として必要な知識を積み上げる。ビジネスメールのやり取り、携帯電話のマナーと対応、名刺の取り扱い等を学習する。企業訪問の際の振る舞いや受付方法を学ぶ。社会人の常識として知っておきたい基礎用語を理解する。

#### 達成目標

仕事に対する意識を高める。メールを使って企業の人事担当とやり取り出来る。郵便物の宛名を正しく書ける。報告書やレポートの書き方がわかる。社会人常識マナー検定2級合格を目指す。

#### 学修成果

堂々と自信を持って企業人とやり取り出来るようになる。各自進路に向けて、自己理解を深め、自信を持ち、積極的に行動出来るようになる。初対面の相手との会話力が身につく。

#### 事前学習

配布プリントにメモした内容を整理し、1冊のファイルにまとめる 60分程度

#### 事後学習

講義内容の復習

#### 授業計画

回	授業計画
第1回	朝礼 学習目標設定 オンライン画面での身だしなみ 主要国の首都名
第2回	朝礼 話の聴き方実験と気づきの発表 伝わる話し方のコツ
第3回	朝礼 日本の雇用制度 仕事の基本となる8つの意識 欧文略語
第4回	朝礼 封筒の宛名書きと郵便知識 企業研究導入 資料の読み込み方
第5回	朝礼 企業研究レポート発表 社会常識四文字熟語
第6回	朝礼 社外文書の定型句 時候の挨拶ワーク 社会常識コミュニケーション問題
第7回	朝礼 ビジネスメールのマナー 面談のお礼メール作成
第8回	朝礼 ビジネスで使用する携帯電話のマナー 訪問アポイントメントの取り方
第9回	朝礼 会社訪問・受付での立ち居振る舞い 社会常識時事問題
第10回	朝礼 応接室・会議室・エレベータなどの席次
第11回	朝礼 名刺作成 名刺交換実習 名刺の取り扱いマナー
第12回	朝礼 会議の準備と流れ 議事録の書き方及び実習
第13回	朝礼 日報・報告書の役割と書き方 守秘義務と情報の取り扱い
第14回	朝礼 各種資料の引用・要約する際のルール 著作権
第15回	期末試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

#### 教科書

著者名	特になし
タイトル	
出版社	

#### 参考書

著者名	
タイトル	社会人常識マナー検定2級過去問題集
出版社	

年度	2024	学期	後期
科目名	ビジネスマナーⅣ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース（全専攻）		
講師名	井上 由美子		

#### 講義概要

2年間の総仕上げとして、大人のマナーについて学習する。ビジネスマナーは勿論のこと、冠婚葬祭の基礎知識、食事のマナー、ビジネスチャンスに繋がる季節の行事や日本のしきたりなど、人として高評価を得られるような知識に触れ、日本社会への理解を深めるとともに人間力を磨く。

#### 達成目標

冠婚葬祭の目的や意義を理解し、対応出来るようになる。会食の席での食事マナーを学び、品格ある行動が出来るようになる。社会人常識マナー検定2級レベルの知識定着を目指す。

#### 学修成果

社会人として、大人として、知っていれば失敗を防ぐことが出来るマナーや常識の知識が身につく。日本の行事やしきたりを、ビジネスに繋がるヒントと考えられるようになる。

#### 事前学習

配布プリントにメモした内容を整理し、1冊のファイルにまとめる 60分程度

#### 事後学習

講義内容の復習

#### 授業計画

回	授業計画
第1回	ビジネスマナーⅠ・Ⅱ・Ⅲの振り返りと今後の課題確認 目標設定
第2回	冠婚葬祭の目的と意義 冠婚葬祭知識とビジネスの繋がり ことわざ・慣用句
第3回	冠婚葬祭 日本の主な通過儀礼「冠」のしきたり
第4回	冠婚葬祭 「婚」のしきたり 招待客としてのマナー
第5回	冠婚葬祭 「葬」のしきたり ビジネスにおける訃報対応
第6回	冠婚葬祭 「祭」のしきたり① 季節の行事と地域社会
第7回	冠婚葬祭 「祭」のしきたり② 暦と二十四節気
第8回	食事のマナー 食文化と歴史 食事とビジネスの関係
第9回	和食のマナー 日本料理の基礎知識 箸使いの作法
第10回	西洋料理のマナー 立ち居振る舞いとカトラリーの使い方
第11回	中華料理のマナー 中華料理の基礎知識と回転卓の作法
第12回	縦書きのビジネス文書 案内状・招待状・お礼状
第13回	縦書き手書きのお礼状 下書き文章を作成する
第14回	筆ペンの使い方実習 お礼状を筆ペンで清書して仕上げる
第15回	期末試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

#### 教科書

著者名	
タイトル	
出版社	

#### 参考書

著者名	
タイトル	
出版社	

年度	2024	学期	前期
科目名	プレゼンテーションⅢ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース（全専攻）		
講師名	谷口 幸広		

#### 講義概要

SNS 全盛時代、情報の「発信」「受信」の様式や意味・価値の変化が激しい。そんな環境の中で企業は情報の「発信」に力を入れている。自分が勤める企業・扱う商品サービスに関する「情報発信」において、新規のお客様・既存のお客様から「支持されるビジネスパーソン」になる土台作りを目的とする。

#### 達成目標

（１）情報活用スキルの習得（２）情報構築の反復継続練習（３）情報発信の反復継続練習

#### 学修成果

（１）「目的」に合わせた①情報収集②分析・読解③編集・立案④発信・共有が出来るようになる。（２）（１）において試行錯誤・創意工夫を「自立的」に行えるようになる。

#### 事前学習

必要な時間：13回×30分／共有される講義資料 PPT の内容確認

#### 事後学習

講義内容の復習

#### 授業計画

回	授業計画
第1回	（１）前提条件の確認 （２）プレゼンテーションとは何か／演習
第2回	（１）復習（２）プレゼンテーションとコミュニケーションの関係性（３）情報とは何か／演習
第3回	（１）復習 （２）「情報活用スキル」概要説明／演習
第4回	（１）復習（２）卒業論文発表を想定したプレゼンテーション企画立案①／演習・発表
第5回	（１）復習（２）卒業論文発表を想定したプレゼンテーション企画立案②／演習・発表
第6回	（１）復習（２）卒業論文発表を想定したプレゼンテーション企画立案③／演習・発表
第7回	（１）復習（２）「興味関心ある商品サービス」のプレゼンテーション企画立案①／演習・発表
第8回	（１）復習（２）「興味関心ある商品サービス」のプレゼンテーション企画立案②／演習・発表
第9回	（１）復習（２）「興味関心ある商品サービス」のプレゼンテーション企画立案③／演習・発表（最終）
第10回	（１）復習（２）「興味関心ある企業」のプレゼンテーション企画立案①／演習・発表
第11回	（１）復習（２）「興味関心ある企業」のプレゼンテーション企画立案②／演習・発表
第12回	（１）復習（２）「興味関心ある企業」のプレゼンテーション企画立案③／演習・発表（最終）
第13回	（１）復習（２）就職活動におけるプレゼンテーション（自己PR・志望動機作成）／演習
第14回	第1回～第13回講義の振り返りと要点の確認
第15回	期末試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

#### 教科書

著者名	なし
タイトル	
出版社	

#### 参考書

著者名	株式会社日本能率協会コンサルティング
タイトル	情報を共有し、活用する技術
出版社	日本能率協会マネジメントセンター

年度	2024	学期	後期
科目名	プレゼンテーションⅣ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース（全専攻）		
講師名	谷口 幸広		

#### 講義概要

前期のプレゼンテーション講義をふまえ、「3つのテーマ」について（1）「グループ」でのプレゼンテーション体験（2）プレゼンテーションの「評価」体験（3）「評価項目・基準作成」体験を得る。／プレゼンする側・評価する側の「両方の視点と体験」をすることで、プレゼンの精度をあげることを目指します。

#### 達成目標

（1）個人プレゼンとグループプレゼンの「違い」を理解する。（2）プレゼンする側と評価する側の「視点の違い」を理解する。（3）情報活用スキルを、より自立的に使用する。

#### 学修成果

前期・後期を通してのプレゼン体験と知識習得により、どのようなテーマを与えられても「プレゼンの目的=基本」を忘れることなく、「情報活用スキル」によって求められる成果を「自立的」に出すことが出来る。

#### 事前学習

前回講義内容復習

#### 事後学習

講義内容の復習

#### 授業計画

回	授業計画
第1回	（1）前期復習（2）就職活動におけるプレゼンテーション（自己PR・志望動機作成）／演習（最終）
第2回	（1）復習（2）「評価」とは何か（3）評価項目・基準を作る／演習（個人）
第3回	（1）復習（2）プレゼン評価／演習（グループ）
第4回	（1）復習（2）「TIBCをプレゼンする」①情報収集／演習（グループ）
第5回	（1）復習（2）「TIBCをプレゼンする」②情報構築／演習（グループ）
第6回	（1）復習（2）「TIBCをプレゼンする」③情報発信・共有／演習（グループ）（3）評価・発表
第7回	（1）復習（2）「TIBCをプレゼンする」④情報収集～構築～発信のブラッシュアップ／演習（グループ）
第8回	（1）復習（2）「これなら語れるグランプリ」①情報収集／演習（個人）
第9回	（1）復習（2）「これなら語れるグランプリ」②情報構築／演習（個人）
第10回	（1）復習（2）「これなら語れるグランプリ」③情報発信・共有／演習（個人）（3）評価・発表
第11回	（1）復習（2）「これなら語れるグランプリ」④情報収集～構築～発信のブラッシュアップ／演習（個人）
第12回	（1）復習（2）「未来プレゼン」①情報収集～構築／演習（個人）
第13回	（1）復習（2）「未来プレゼン」②発信・共有／演習（個人）（3）評価・発表
第14回	第1回～第13回講義の振り返りと要点の確認
第15回	期末試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

#### 教科書

著者名	なし
タイトル	
出版社	

#### 参考書

著者名	株式会社日本能率協会コンサルティング
タイトル	情報を共有し、活用する技術
出版社	日本能率協会マネジメントセンター

年度	2024	学期	前期
科目名	外国語Ⅲ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース（全専攻）		
講師名	関根 有沙		

#### 講義概要

ハングルを理解しそれぞれの発音を練習し、基本的な文法ルールや語順を理解し、簡単な文を作る練習をします。日常会話でよく使われる単語やフレーズを覚えて、会話力を向上させます。正しい発音やイントネーションを練習して、簡単な文章や会話を読んで理解し、韓国語の文法や表現を学びます。

#### 達成目標

ハングルの読み書きを理解し、それを使って表現が出来る。母音と子音を正確に区別し使うことが出来る。自分の伝えたい事、日常会話や私的な話題などがある程度言葉に出来る。

#### 学修成果

基本的なコミュニケーションが可能となり、韓国語に対する自信も高まり、上級レベルの学習に進むための基盤が築かれます。韓国語能力試験 2 級の合格や韓国人との会話が可能になり、韓国文化を知る機会が増え、日韓の架け橋となる仕事に就けます。

#### 事前学習

前回講義内容復習

#### 事後学習

講義内容の復習

#### 授業計画

回	授業計画
第 1 回	ハングルの仕組みと組み合わせや韓国語発音のルールを学びます。
第 2 回	ハングルの仕組みと組み合わせや韓国語発音のルールを学びます。
第 3 回	パッチムの仕組みをまなびます。
第 4 回	パッチムの仕組みをまなびます。
第 5 回	基本の単語やフレーズを少しずつ覚えます。
第 6 回	基本の単語やフレーズを少しずつ覚えます。
第 7 回	文法の基本、韓国の分の仕組みについて学びます。ハムニダ体とヘヨ体で自己紹介を覚えます。
第 8 回	文法の基本、韓国の分の仕組みについて学びます。ハムニダ体とヘヨ体で自己紹介を覚えます。
第 9 回	ハムニダ体とヘヨ体の否定の表現を学びます。
第 10 回	ハムニダ体とヘヨ体の否定の表現を学びます。
第 11 回	があります。がいます。の表現を学びます。
第 12 回	があります。がいます。の表現を学びます。
第 13 回	韓国語文化を学べる動画をみます。チマチョゴリのルーツなどを学びます。
第 14 回	期末試験部分復習
第 15 回	期末試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

#### 教科書

著者名	チヨヒチヨル
タイトル	ひとめでわかる韓国語のきほんのきほん
出版社	高橋書店

#### 参考書

著者名	
タイトル	
出版社	

年度	2024	学期	後期
科目名	外国語Ⅳ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース（全専攻）		
講師名	関根 有沙		

#### 講義概要

ハングルを理解しそれぞれの発音を練習し、基本的な文法ルールや語順を理解し、簡単な文を作る練習をします。日常会話でよく使われる単語やフレーズを覚えて、会話力を向上させます。正しい発音やイントネーションを練習して、簡単な文章や会話を読んで理解し、韓国語の文法や表現を学びます。

#### 達成目標

ハングルの読み書きを理解し、それを使って表現が出来る。母音と子音を正確に区別し使うことが出来る。自分の伝えたい事、日常会話や私的な話題などがある程度言葉に出来る。

#### 学修成果

基本的なコミュニケーションが可能となり、韓国語に対する自信も高まり、上級レベルの学習に進むための基盤が築かれます。韓国語能力試験 2 級の合格や韓国人との会話が可能になり、韓国文化を知る機会が増え、日韓の架け橋となる仕事に就けます。

#### 事前学習

前回講義内容復習

#### 事後学習

講義内容の復習

#### 授業計画

回	授業計画
第 1 回	ハムニダ体とヘヨ体の否定の表現を学びます。
第 2 回	があります。がいます。の表現を学びます。
第 3 回	助詞の使い方について学びます。これ/それ/あれを覚えます。
第 4 回	疑問詞(いつ/どこ/だれ/何/なぜ/どのように)を使って会話の練習をします。
第 5 回	疑問詞(いつ/どこ/だれ/何/なぜ/どのように)を使って会話の練習をします。
第 6 回	韓国語文化を学べる動画を見ます。韓国文化のわかるドラマを観ます。
第 7 回	動詞、形容詞のハムニダ体での(です/ます)を学びます。
第 8 回	動詞、形容詞のヘヨ体での(です/ます)を学びます。
第 9 回	動詞、形容詞のヘヨ体での(です/ます)を学びます。
第 10 回	否定の表現と不可能の表現を学びます。
第 11 回	否定の表現と不可能の表現を学びます。
第 12 回	韓国文化についての動画を見ます。
第 13 回	期末試験復習
第 14 回	期末試験部分復習
第 15 回	期末試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

#### 教科書

著者名	チヨヒチヨル
タイトル	ひとめでわかる韓国語のきほんのきほん
出版社	高橋書店

#### 参考書

著者名	
タイトル	
出版社	

年度	2024	学期	前期
科目名	外国語演習Ⅲ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース（全専攻）		
講師名	山北 麻美		

#### 講義概要

本講義では、外国語とその文化に触れ理解を促進し、語学を使ってコミュニケーションをとる楽しさを体感し英会話の基礎を養う。基本的な文法や単語を確認した上で、実際に使う場面を想定したスキットを通して英語を話す・使う練習をする。

#### 達成目標

- ・英語を使って挨拶や受け答えができるようになる。
- ・自国の文化を知り海外との違いを認識する。
- ・英語圏の文化や行事を知り興味を持つようになる。
- ・怖がらずに進んで英語で話したり反応できるようになる。

#### 学修成果

- ・基本的な英語での表現に慣れ親しみ、身振り手振りなどを踏まえて自分の伝えたいことを表現することができる。
- ・世界について興味を示し、異なる文化や考え方を受け入れることができる。

#### 事前学習

前回講義内容復習

#### 事後学習

講義内容の復習

#### 授業計画

回	授業計画
第1回	講義ガイダンス 海外と日本の違いについて話し合う
第2回	リスニング・和訳：英語の歌から学ぶ表現方法と文化の違い
第3回	Table Manner①：日本と海外のテーブルマナーの違い リスニング・意見交換
第4回	Table Manner②：日本と海外のテーブルマナーの違い 自分の意見を英語で伝えあう
第5回	Bento①：日本と海外のランチの違い リスニング・意見交換
第6回	Bento②：日本と海外のランチの違い 自分の意見を英語で伝えあう
第7回	The Bus①：日本と海外の交通手段の違い リスニング・意見交換
第8回	The Bus②：日本と海外の交通手段の違い 自分の意見を英語で伝えあう
第9回	Traditions and culture 花火①：伝統イベント リスニング・意見交換
第10回	Traditions and culture 花火②：伝統イベント 自分の意見を英語で伝えあう
第11回	プレゼンテーション準備①
第12回	プレゼンテーション準備②
第13回	プレゼンテーション 意見交換
第14回	これまでの復習 自分が理解できていない箇所を確認し疑問をクリアにする
第15回	期末試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

#### 教科書

著者名	
タイトル	教科書は指定せず、適宜、プリント等を配布
出版社	

#### 参考書

著者名	
タイトル	website Tokyo global studio Basic を活用
出版社	

年度	2024	学期	後期
科目名	外国語演習Ⅳ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース（全専攻）		
講師名	山北 麻美		

#### 講義概要

本講義では、外国語とその文化に触れ理解を促進し、語学を使ってコミュニケーションをとる楽しさを体感し英会話の基礎を養う。基本的な文法や単語を確認した上で、実際に使う場面を想定したスキットを通して英語を話す・使う練習をする。

#### 達成目標

- ・英語を使って挨拶や受け答えができるようになる。
- ・自国の文化を知り海外との違いを認識する。
- ・英語圏の文化や行事を知り興味を持つようになる。
- ・怖がらずに進んで英語で話したり反応できるようになる。

#### 学修成果

- ・基本的な英語での表現に慣れ親しみ、身振り手振りなどを踏まえて自分の伝えたいことを表現することができる。
- ・世界について興味を示し、異なる文化や考え方を受け入れることができる。

#### 事前学習

前回講義内容復習

#### 事後学習

講義内容の復習

#### 授業計画

回	授業計画
第1回	Nature and Community Activities ①：掃除 リスニング・意見交換
第2回	Nature and Community Activities ②：掃除 自分の意見を英語で伝えあう
第3回	Nature and Community Activities ③：高尾山 リスニング・意見交換
第4回	Nature and Community Activities ④：高尾山 自分の意見を英語で伝えあう
第5回	グループワーク：Travel Plan① おススメのトラベルプランの作成
第6回	グループワーク：Travel Plan② 発表の準備
第7回	グループワーク：Travel Plan③ 発表と振り返り
第8回	Nature and Community Activities ⑤：消防団 リスニング・意見交換
第9回	Nature and Community Activities ⑥：消防団 自分の意見を英語で伝えあう
第10回	Science and Thecnology①：電化製品 リスニング・意見交換
第11回	Science and Thecnology②：電化製品 自分の意見を英語で伝えあう
第12回	グループワーク：日本の行事① グループで意見をまとめる
第13回	グループワーク：日本の行事② 最終確認をして発表・振り返り
第14回	これまでの復習 自分が理解できていない箇所を確認し疑問をクリアにする
第15回	期末試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

#### 教科書

著者名	
タイトル	教科書は指定せず、適宜、プリント等を配布
出版社	

#### 参考書

著者名	
タイトル	website Tokyo global studio Basic を活用
出版社	

年度	2024	学期	前期
科目名	卒業演習 I	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース（全専攻）		
講師名	沢井 裕		

#### 講義概要

本講義では卒業研究シナリオ作成に向け、研究テーマ選定のためのアプローチ方法やシナリオ作成にあたっての基本ルールについて説明し、実際の文章作成を通し書き方の基本を身につける。講義の中ではこちらより選定したテーマに沿って論文作成の基本に則り文章を作成し、書き方の型を身につける。

#### 達成目標

日本での冠婚葬祭に参加する際にマナーに沿った行動ができる。冠婚葬祭の専門知識の習得と関連する職業にどのようなものがあるのか理解し、進路活動に役立てる。

#### 学修成果

卒業研究の意味と目的を理解し、事実に基づいた信頼性のある情報の収集方法を知り、収集した情報を精査し、論拠に基づく文章構成ができるようになる。

#### 事前学習

前回講義内容復習

#### 事後学習

講義内容の復習

#### 授業計画

回	授業計画
第 1 回	卒業研究とは何か テーマの探し方、情報収集の仕方と実践練習
第 2 回	卒業研究の基本事項① 引用文の扱い方、文体、内容
第 3 回	卒業研究課題設定の基本事項② 研究背景、目的、文章構成の方法
第 4 回	卒業研究課題設定の基本事項③ 研究の進め方、展開方法
第 5 回	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「好きなこと 1」
第 6 回	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「好きなこと 2」
第 7 回	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「好きなこと 3」
第 8 回	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「ニュース 1」
第 9 回	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「ニュース 2」
第 10 回	前回学習内容の復習 題材別テーマ設定「ニュース 3」
第 11 回	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「講義内容 1」
第 12 回	前回学習内容の復習 題材別テーマ設定「講義内容 2」
第 13 回	前回学習内容の復習 題材別テーマ設定「講義内容 3」
第 14 回	卒業研究課題作成の基本事項確認 テーマの決定
第 15 回	定期試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

#### 教科書

著者名	講師配布資料
タイトル	
出版社	

#### 参考書

著者名	
タイトル	
出版社	

年度	2024	学期	後期
科目名	卒業演習Ⅱ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース（全専攻）		
講師名	沢井 裕		

#### 講義概要

本講義では個人が決めた卒業研究のテーマに基づき、必要な情報を収集し、オリジナルセミナー開催のためのシナリオを執筆する。講義の中では、テーマ研究に必要な情報収集の方法や、読む人を納得させるために必要な論拠に基づく論理展開の方法や必要なアプローチについて学習し、シナリオ作成に活かす。

#### 達成目標

セミナーシナリオを仕上げ、提出する。自らが選定したテーマについて、事実に基づいた客観的情報を基に多角的な観点からセミナー展開し、結論につなげる。

#### 学修成果

自らが決めた一つのテーマについて追及することを通し、集中力、継続力、忍耐力を身につける。セミナーシナリオの完成により自分を他者に伝えるための型を手に入れることができる。

#### 事前学習

前回講義内容復習

#### 事後学習

講義内容の復習

#### 授業計画

回	授業計画
第1回	卒業研究テーマの確認と諸注意 スケジュールの確認・シナリオ作成
第2回	セミナーシナリオ作成のための情報収集と作成①
第3回	セミナーシナリオ作成のための情報収集と作成②
第4回	セミナーシナリオ作成のための情報収集と作成③
第5回	セミナーシナリオ作成のための情報収集と作成④
第6回	セミナーシナリオ作成のための情報収集と作成⑤
第7回	セミナーシナリオ作成のための情報収集と作成⑥
第8回	セミナーシナリオ作成のための情報収集と作成⑦
第9回	セミナーシナリオ作成のための情報収集と作成⑧
第10回	セミナーシナリオ作成のための情報収集と作成⑨ 初稿提出期限1
第11回	セミナーシナリオ作成のための情報収集と作成⑩ 初稿提出期限2
第12回	セミナーシナリオ作成のための情報収集と作成⑪ 初稿校正1
第13回	セミナーシナリオ作成のための情報収集と作成⑫ 初稿校正2
第14回	セミナーシナリオ作成及び校正⑬ セミナーシナリオ最終稿提出
第15回	定期試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

#### 教科書

著者名	講師配布資料
タイトル	
出版社	

#### 参考書

著者名	
タイトル	
出版社	

年度	2024	学期	後期
科目名	卒業演習Ⅲ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース（全専攻）		
講師名	沢井 裕		

講義概要

本講義では作成したセミナーシナリオを基に、卒業研究発表のためのスライドの作成及びプレゼンテーション準備を行う。この2年間での学びを活かし、人の心を動かし行動につなげる発表を目指し、専門学校の学びの集大成として一つの形にまとめる。

達成目標

世界遺産の基礎知識および日本の世界遺産の現状と課題についての知識を身につける。世界遺産検定3級の合格を目指す。

学修成果

発表会でのプレゼンという目標に向かい、より高レベルのプレゼンのための発表準備を通して、社会人として必要な集中力、継続力、忍耐力、課題解決力を身につけられる。

事前学習

前回講義内容復習

事後学習

講義内容の復習

授業計画

回	授業計画
第1回	オリエンテーション 卒業研究発表会概要説明
第2回	卒業研究発表のための個別作業① スライド作成上の注意①
第3回	卒業研究発表のための個別作業② スライド作成上の注意②
第4回	卒業研究発表のための個別作業③ 中間状況確認
第5回	卒業研究発表のための個別作業④ 発表スライド構成概要の提出
第6回	卒業研究発表のための個別作業⑤ 発表スライド構成概要の見直し
第7回	卒業研究発表のための個別作業⑥ 発表スライド構成概要最終提出
第8回	卒業研究発表のための個別作業⑦ 発表準備①
第9回	卒業研究発表のための個別作業⑧ 発表準備②
第10回	卒業研究発表スライド完成 卒業研究発表スライド初稿提出
第11回	卒業研究発表会予行演習① 卒業研究発表スライドの内容見直しと校正
第12回	卒業研究発表スライド作成 卒業研究発表スライドの最終校正
第13回	卒業研究発表会予行演習② 卒業研究発表スライド完成版提出
第14回	卒業研究発表会 卒業研究発表の評価とフィードバック
第15回	定期試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

教科書

著者名	講師配布資料
タイトル	
出版社	

参考書

著者名	
タイトル	
出版社	

年度	2024	学期	前期
科目名	ホスピタリティ経営 I	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース（全専攻）		
講師名	小池 勝也		

#### 講義概要

一般的に「ホスピタリティ」とは、「おもてなし」や「心配り」などサービスの延長線上にあるものとして混同、誤解されている場合が多い。本講義では、サービスとホスピタリティの明確な違いを理解し、「相手の立場になって考え行動する」という対人関係のマネジメント能力を身に付ける。

#### 達成目標

ビジネスにおいて抽象的、曖昧に使用されているサービスとホスピタリティの違いを理解する。また、ロボット化やAI化が急激に進展するビジネス社会において、肉体労働、頭脳労働に加え、人間だけが行うことのできる感情労働の重要性を再認識する。

#### 学修成果

個人としてだけでなく、組織行動の中でホスピタリティの重要性を理解、実践できるようになることで、学生がどのような職業についても、個々のステークホルダーと良好な関係性を築き、組織に貢献できる人材となる。

#### 事前学習

前回講義内容復習

#### 事後学習

講義内容の復習

#### 授業計画

回	授業計画
第1回	講義オリエンテーション なぜ「ホスピタリティ」を学ぶのか？
第2回	なぜ「ホスピタリティ経営」が重要なのか 企業を取り巻く経営環境の急激な変化
第3回	ホスピタリティの起源 ホスピタリティはどこから生まれたのか？なぜ生れたのか？
第4回	「サービス」と「ホスピタリティ」の違い サービスは技術、ホスピタリティは対人関係のマネジメント能力
第5回	ホスピタリティとは？① 「相手の立場になって考え行動すること
第6回	ホスピタリティとは？② 相手とは誰？相手の立場になって考えるとは？行動するとは？
第7回	ホスピタリティの5要素 「関与」「共感」「敬意」「誠実」「利他」
第8回	ホスピタリティの要素①「関与」について 顧客の状況に関心を持つ＝顧客をよく知る
第9回	ホスピタリティの要素②「共感」について 顧客の気持ち（喜怒哀楽）を感じ取る
第10回	ホスピタリティの要素③「敬意」について 顧客の文化や価値観を尊重する
第11回	ホスピタリティの要素④「誠実」について 私利私欲をまじえず、真心をもって顧客や物事に対する
第12回	ホスピタリティの要素⑤「利他」について 顧客の役にたとうとする（利己と利他の違い）
第13回	ホスピタリティが経営に与える影響 ビジネスにおけるホスピタリティとは関係性のマネジメント能力
第14回	講義のまとめ 期末試験前の振り返り（重要な語句・考え方の復習）
第15回	期末試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

#### 教科書

著者名	特に指定せず、適宜、プリント等を配布
タイトル	
出版社	

#### 参考書

著者名	特になし
タイトル	
出版社	

年度	2024	学期	後期
科目名	消費者行動論	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース（全専攻）		
講師名	沢井 裕		

#### 講義概要

人間の心理面に焦点をあて、市場で製品が売れる課程を理解していく。特に、その課程において企業や店舗がどのように関わっているのか、人が選択する際の「くせ」（不合理）を伝統経済学やマーケティング、行動経済学等幅広い視点から理解できる内容とする。

#### 達成目標

人間心理に基づいた購買行動を理解することで、今後の仕事における顧客心理に基づいた対応や企画、普段の買い物や自身の学習計画の履行等で広く活用していくことを目標とする。

#### 学修成果

1年次に学習したマーケティングや経済学、ホスピタリティを活用することで獲得した知識を再学習することで実践に活かすイメージを定着させる。

#### 事前学習

前回講義内容復習

#### 事後学習

講義内容の復習

#### 授業計画

回	授業計画
第1回	マーケティング基礎講義：1.0-4.0 マーケティング比較
第2回	ホスピタリティ基礎講義：顧客満足（インサイトを知る）
第3回	経済学基礎講義：機会費用、希少性、代替え財等法則
第4回	行動経済学講義①：伝統経済学の限界と違い
第5回	行動経済学講義②：ヒューリスティックとシステムティック
第6回	行動経済学講義③：プロスペクト理論とナッジ理論
第7回	消費者行動①購買意思決定プロセスと事例紹介
第8回	消費者行動②カラーマーケティングと事例紹介
第9回	消費者行動③男女別マーケティングと事例紹介
第10回	消費者行動④ニューロンマーケティングと事例紹介
第11回	最新消費者行動①AIDMAとAISASの購買行動
第12回	最新消費者行動②ECマーケティングとショールーミング
第13回	最新消費者行動③2025年における消費者行動予測
第14回	イノベーションと流行の関係、流行を作ろう
第15回	定期試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

#### 教科書

著者名	
タイトル	
出版社	

#### 参考書

著者名	田中洋
タイトル	消費者行動論
出版社	中央経済社

年度	2024	学期	前期
科目名	社会常識Ⅲ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース（全専攻）		
講師名	沢井 裕		

#### 講義概要

本講義は2つ目的がある。まずメディアを利用するにあたり情報を主体的に読み解く能力を習得すること。そして適切な情報収集や知識の習得により社会常識としての就職活動や進学に向けて必要な知識を獲得し、学びを実践場に活かすこと。講義はニュース検定2級、準2級の教材を活用し進めていく。

#### 達成目標

メディアを介した情報を主体的に読み解くことができ、適切な情報収集ができるようになること。またそれを通して、社会常識を身に付けビジネス資格を取得できることを目標とする。

#### 学修成果

一般的なメディアリテラシー知識を理解できる。その知識を利用して適切な情報収集ができる。1年次に学習したビジネス学習を形とすべく資格試験に合格する。

#### 事前学習

前回講義内容復習

#### 事後学習

講義内容の復習

#### 授業計画

回	授業計画
第1回	講義オリエンテーション ニュースの意図を考える
第2回	現代ニュースについて知る/ウクライナ侵攻について
第3回	ニュース時事検定問題に挑戦①ニュース時事検定準2級の問題を解く
第4回	ニュース時事検定準2級問題の振り返り 解答と解説
第5回	ニュース時事検定問題に挑戦②ニュース時事検定準2級の問題を解く
第6回	ニュース時事検定準2級問題の振り返り 解答と解説
第7回	ニュース時事検定問題に挑戦③ニュース時事検定準2級の問題を解く
第8回	ニュース時事検定準2級問題の振り返り 解答と解説
第9回	ニュース時事検定問題に挑戦④ ニュース時事検定準2級の問題を解く
第10回	ニュース時事検定準2級問題の振り返り 解答と解説
第11回	ニュース時事検定問題に挑戦⑤/ニュース時事検定準2級の問題を解く
第12回	ニュース時事検定準2級問題の振り返り 解答と解説
第13回	ニュース時事検定問題に挑戦⑥ ニュース時事検定準2級の問題を解く
第14回	ニュース時事検定準2級問題の振り返り 解答と解説
第15回	定期試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

#### 教科書

著者名	ニュース検定公式テキスト編集委員会
タイトル	2024年度版ニュース検定 公式テキスト「時事力」発展編
出版社	毎日新聞出版

#### 参考書

著者名	ニュース検定公式テキスト編集委員会
タイトル	2024年度版ニュース検定 公式問題集「時事力」
出版社	毎日新聞出版

年度	2024	学期	後期
科目名	社会常識IV	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース（全専攻）		
講師名	沢井 裕		

#### 講義概要

本講義は2つ目的がある。まずメディアを利用するにあたり情報を主体的に読み解く能力を習得すること。そして適切な情報収集や知識の習得により社会常識をより深め就職活動や進学に向けて必要な準備を行い学びを実践場に活かすこと。講義はニュース検定2級、準2級の教材を活用し進めていく。

#### 達成目標

メディアを介した情報を効果的に読み解くことができ、前期より適切な情報収集ができるようになること。また社会常識をより深め、難易度の高いビジネス資格を取得できることを目標とする。

#### 学修成果

深くメディアリテラシー知識を理解できる。その知識を利用して適切な情報収集ができる。前期より難易度の高いビジネス学習を形とすべく資格試験に合格する。

#### 事前学習

前回講義内容復習

#### 事後学習

講義内容の復習

#### 授業計画

回	授業計画
第1回	講義オリエンテーション 前期講義の振り返り
第2回	現代ニュースについて知る 時事ニュースピックアップ
第3回	ニュース時事検定問題に挑戦① ニュース時事検定2級の問題を解く
第4回	ニュース時事検定2級問題の振り返り 解答と解説
第5回	ニュース時事検定問題に挑戦② ニュース時事検定2級の問題を解く
第6回	ニュース時事検定2級問題の振り返り 解答と解説
第7回	ニュース時事検定2級問題の振り返り 解答と解説
第8回	ニュース時事検定問題に挑戦④ ニュース時事検定2級の問題を解く
第9回	ニュース時事検定2級問題の振り返り 解答と解説
第10回	ニュース時事検定問題に挑戦⑤ ニュース時事検定2級の問題を解く
第11回	ニュース時事検定2級問題の振り返り 解答と解説
第12回	ニュース時事検定2級問題の振り返り 解答と解説
第13回	ニュース時事検定問題に挑戦⑥ ニュース時事検定2級の問題を解く
第14回	ニュース時事検定2級問題の振り返り
第15回	定期試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

#### 教科書

著者名	ニュース検定公式テキスト編集委員会
タイトル	2024年度版ニュース検定 公式テキスト「時事力」発展編
出版社	毎日新聞出版

#### 参考書

著者名	ニュース検定公式テキスト編集委員会
タイトル	2024年度版ニュース検定 公式問題集「時事力」
出版社	毎日新聞出版

年度	2024	学期	前期
科目名	冠婚葬祭概論Ⅰ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース（全専攻）		
講師名	井上 由美子		

講義概要

本講義では、学生が社会人として身につけておくべき冠婚葬祭における知識及びスキルの習得、日本文化の理解を目的とする。講義を通じて、日本の文化やしきたり、習慣の由来や意味について理解した上で実際の場面で行動する際に学習した内容を活かせるようにする。

達成目標

冠婚葬祭に参加する際にマナーに沿った行動ができる。冠婚葬祭の専門知識の習得とそれに関わる職業の理解。冠婚葬祭の背景にある日本文化を理解し、他者に伝えられるようになる。

学修成果

冠婚葬祭に参加の際にマナーを守り行動できる。冠婚葬祭に関わる仕事の知識を得て、将来の進路の選択肢の幅を広げる。日本の文化や伝統行事の意味について、他国の人に説明できる。

事前学習

前回講義内容復習

事後学習

講義内容の復習

授業計画

回	授業計画
第1回	冠婚葬祭とは 成り立ちや歴史、文化的背景の理解
第2回	冠婚葬祭の「祭」 日本のお祭りについて調べよう
第3回	冠婚葬祭の「祭」 日本のお祭り発表準備（グループワーク）
第4回	冠婚葬祭の「祭」 日本のお祭り発表（プレゼンテーション）
第5回	冠婚葬祭に関わるマナー① 御見舞・贈り物のマナー
第6回	冠婚葬祭に関わるマナー② 弔事の際のマナー
第7回	冠婚葬祭に関わる仕事① 葬儀に関わる仕事
第8回	冠婚葬祭に関わるマナー③ 結婚式の際のマナー
第9回	冠婚葬祭に関わる仕事② 結婚に関わる仕事
第10回	冠婚葬祭に関わる仕事③ 課外活動：式場体験
第11回	冠婚葬祭に関わる仕事③ ウェディングプランを立ててみよう
第12回	冠婚葬祭に関わる仕事④ ウェディングプランの発表
第13回	世界の冠婚葬祭について調べよう① 地域別冠婚葬祭文化の比較
第14回	解答と解説
第15回	定期試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

教科書

著者名	講師配布プリント
タイトル	
出版社	

参考書

著者名	
タイトル	
出版社	

年度	2024	学期	前期
科目名	時事研究Ⅲ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース（全専攻）		
講師名	沢井 裕		

#### 講義概要

本講義の目的はSDGsに焦点を当てて、17の目標に基づき、日本の抱える諸問題についての理解を深め、視野を広げた上で日本の将来を具体的に予測し解決策を模索、住みやすい日本にするためにどう行動すべきかの準備をする講義である。

#### 達成目標

現在のSDGs 17の目標に基づく日本の諸問題に対して深く理解をし、住みやすい日本にするためにどう行動すべきかを考えることを目標とする。

#### 学修成果

日本のSDGs 17の目標に基づく諸問題を理解し、その知識をインターネット等メディアを利用し情報収集できる。それを就職活動や社会で活かすことができる。

#### 事前学習

前回講義内容復習

#### 事後学習

講義内容の復習

#### 授業計画

回	授業計画
第1回	日本における諸問題①SDGs 17の目標について考える
第2回	日本における諸問題②SDGsとMDGsの違い
第3回	日本における諸問題③SDGs ナマケモノでもできるアクションガイド
第4回	日本における諸問題④持続可能なエネルギーについて
第5回	日本における諸問題⑤SDGsに関する政府取組みについて
第6回	日本における諸問題⑥SDGs 17の目標より（環境）
第7回	日本における諸問題⑦SDGs 17の目標より（教育）
第8回	日本における諸問題⑧SDGs 17の目標より（健康と福祉）
第9回	日本における諸問題⑨SDGs サステナブル商品事例
第10回	日本における諸問題⑩SDGs 政府の取り組むアクションプラン
第11回	日本における諸問題⑪SDGs 個人のできるアクションプラン
第12回	日本における諸問題⑫SDGs 企業のできるアクションプラン
第13回	日米比較ハワイオンライン講義：SDGsへの取り組み
第14回	今後への提言：私のSDGsアクションプラン発表
第15回	定期試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

#### 教科書

著者名	
タイトル	
出版社	

#### 参考書

著者名	日本時事能力検定協会監修
タイトル	2023年度版ニュース検定公式テキスト&問題集「時事力」入門編
出版社	毎日新聞出版

年度	2024	学期	後期
科目名	時事研究IV	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース（全専攻）		
講師名	沢井 裕		

#### 講義概要

本講義の目的はデータに基づき論理的判断のできる思考を学び、複雑で予想の難しい最新時事に焦点を当てて、現実に即した理解をしていく。その上でどうすべきかの解決策を模索、将来の自身がどう行動していくべきかの準備をする講義である。

#### 達成目標

データに基づく論理的判断のできる思考を学ぶ。それに付随して情報収集能力を高め、対象を深く理解し、具体的かつ正確な予測のできることを目標とする。

#### 学修成果

データに基づく論理的判断ができる。その知識をインターネット等メディアを利用し適確な情報収集できる。それを就職活動や社会で活かすことができる。

#### 事前学習

前回講義内容復習

#### 事後学習

講義内容の復習

#### 授業計画

回	授業計画
第1回	論理的思考の習得①分断本能とネガティブ本能
第2回	論理的思考の習得と実践②直線本能と恐怖本能
第3回	論理的思考の習得と実践③過大視本能とパターン化本能
第4回	論理的思考の習得と実践④宿命本能と単純化本能
第5回	論理的思考の習得と実践⑤犯人探し本能と焦り本能
第6回	最新時事とその考察①AIがもたらす利益と弊害
第7回	最新時事とその考察②スマートフォン利用の怖い現実
第8回	最新時事とその考察③地政学と世界の国家間問題前半
第9回	最新時事とその考察③地政学と世界の国家間問題後半
第10回	最新時事とその考察④GAF Aを中心とした仕事の未来前半
第11回	最新時事とその考察④GAF Aを中心とした仕事の未来後半
第12回	最新時事とその考察⑤100年ライフと多様なロールモデル前半
第13回	最新時事とその考察⑤100年ライフと多様なロールモデル後半
第14回	今後への提言：私の100年ライフプラン発表
第15回	定期試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

#### 教科書

著者名	
タイトル	
出版社	

#### 参考書

著者名	ハンス・ロスリング
タイトル	FACTFULNESS10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣
出版社	日経BP

年度	2024	学期	前期
科目名	企業リサーチ I	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース（全専攻）		
講師名	沢井 裕		

#### 講義概要

本講義の目的は2つある。まず、ビジネス学習として企業におけるブランドの定義や成り立ち及びブランディング活動の理解をすること。その理解を通じて、自信をブランドに置き換え自己分析をし、パーソナルブランドを確立することの2つを目的とする。

#### 達成目標

企業の行っているブランディング活動を理解することができ、それを自身に置き換えブランドと定義づけをし、自己理解を深め、今後の自己成長につなげる。

#### 学修成果

企業活動としてのブランディングを理解することができる。自身をブランドに置き換え価値あるものとして自己肯定感を高められる。自身の今後の活動に活かすことができる。

#### 事前学習

前回講義内容復習

#### 事後学習

講義内容の復習

#### 授業計画

回	授業計画
第1回	ブランドとは①：ブランド概念の導入と定義づけ
第2回	ブランドとは②：ブランディングとマーケティングの違い
第3回	ブランドとは③：ブランド価値とブランドメリット
第4回	発表：第一次パーソナルブランディング宣言
第5回	ブランディング①ブランドの旗を立てる（何を売りにするか）
第6回	ブランディング②3C分析（自社分析、資産を知る）
第7回	ブランディング③3C分析（顧客分析、ターゲティング、ペルソナ分析）
第8回	ブランディング④3C分析（他社分析、ポジショニングマップ作成）
第9回	ブランディング⑤ブランドアイデンティティの設定
第10回	ブランディング⑥ロゴとブランドカラー、タグライン設定
第11回	ブランディング⑦ブランドネーミングとプライシング
第12回	ブランディング⑧ブランド管理（アウトターブランディングとインナーブランディング）
第13回	ブランディング⑨ブランド管理（ブランドメンテナンス）
第14回	発表：第二次パーソナルブランディング宣言
第15回	期末試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

#### 教科書

著者名	講師作成資料
タイトル	
出版社	

#### 参考書

著者名	羽田康祐
タイトル	ブランディングの教科書：ブランディングの理論と実践がこれ1冊でわかる
出版社	NextPublishing Authors Press

年度	2024	学期	前期
科目名	接遇外国語 I	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース（全専攻）		
講師名	竹内 文		

#### 講義概要

英語を「話す」「聞く」際に大きく影響する発音を基礎から学ぶ。音節の理解や母音・子音の正しい英語発音のための口の形や息の使い方、ストレス、リズムやイントネーションなど、さまざまなアクティビティを通して相手にとって理解しやすい発音の仕方を習得する。

#### 達成目標

- ・ 英語の正しい音とその種類を学ぶ
- ・ 正しい音の作り方を学ぶ
- ・ リズム、イントネーション、音の連結などを学び聞きやすい英語を習得する

#### 学修成果

ペア・グループでのコミュニケーションな実践練習を通して相手が理解しやすいクリアな発音ができるようになることで英語を話すことに自信を持てるようになる。

#### 事前学習

前回講義内容復習

#### 事後学習

講義内容の復習

#### 授業計画

回	授業計画
第 1 回	Spelling and pronunciation
第 2 回	Vowels (1)
第 3 回	Vowels (2)
第 4 回	Vowels (3)
第 5 回	Diphthongs (1)
第 6 回	Diphthongs (2)
第 7 回	Consonants (1)
第 8 回	Consonants (2)
第 9 回	Consonants (3)
第 10 回	Consonants (4)
第 11 回	Consonants (5)
第 12 回	Medial clusters
第 13 回	Initial clusters
第 14 回	Final clusters
第 15 回	期末試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

#### 教科書

著者名	Linda Grant
タイトル	WELL SAID Fourth Edition Pronunciation for Clear Communication
出版社	Cengage Learning

#### 参考書

著者名	Jonathan Marks
タイトル	English Pronunciation in Use
出版社	Cambridge University Press

年度	2024	学期	後期
科目名	接遇外国語Ⅱ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース（全専攻）		
講師名	竹内 文		

#### 講義概要

訪日外国人旅行者の増加や加速する国際化に備え、レストランやコンビニ、駅前などの身近な場面での英会話を学ぶ。ロールプレイを通してリスニング・スピーキング力を高めながら、ペア・グループワークを取り入れコミュニケーションを中心とした学習で英語を楽しく習得する。

#### 達成目標

外国人旅行者とスムーズかつ丁寧にコミュニケーションをはかるために必要な語彙、会話表現を習得する。また、スピーキング中心の授業を通して英語を話すことに対する自信をつける。

#### 学修成果

英語に対する苦手意識を克服し、自信を持って外国人旅行者や留学生とコミュニケーションが取れたり、日本について英語で話すことができるようになる。

#### 事前学習

前回講義内容復習

#### 事後学習

講義内容の復習

#### 授業計画

回	授業計画
第1回	Unit 10 道案内（語彙・表現）
第2回	Unit 10 道案内（ロールプレイ）
第3回	Unit 11-1 交通機関の利用案内（語彙・表現）
第4回	Unit 11-1 交通機関の利用案内（ロールプレイ）
第5回	Unit 11-2 観光施設の情報提供（語彙・表現）
第6回	Unit 11-2 観光施設の情報提供（ロールプレイ）
第7回	会話テストの準備（ロールプレイ作成）
第8回	会話テストの実施
第9回	Unit 12-1 発券機の使用法の説明（語彙・表現）
第10回	Unit 12-1 発券機の使用法の説明（ロールプレイ）
第11回	Unit 12-2 電化製品の使用法の説明（語彙・表現）
第12回	Unit 12-2 電化製品の使用法の説明（ロールプレイ）
第13回	Review (Units 7-12)
第14回	期末試験準備
第15回	期末試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

#### 教科書

著者名	工藤多恵
タイトル	You're Welcome! - Communication with Tourists Made Easy -
出版社	センゲージ ラーニング株式会社

#### 参考書

著者名	
タイトル	
出版社	

年度	2024	学期	前期
科目名	就職ケーススタディ I	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース（全専攻）		
講師名	沢井 裕		

#### 講義概要

経済産業省が 2006 年に提唱している社会人基礎力（前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力）に必要な 12（意思決定、協調性など）の能力を身に付け、社会人としての準備をすることを第一の目標とする。特に就職や進学活動場面での適切な行動ができるよう講義を進める。

#### 達成目標

自分自身の適性を把握して進路活動を行うことができる。適切な情報収集をして企業や学校を選定、説明会等への参加ができる。選考活動において合格に必要な知識を持ち実践できる。

#### 学修成果

自分自身の望む業務内容及び学習内容を把握したうえで自分の状況に合う企業及び学校を探索、必要な準備をしっかりと上で選考に望み、自身の希望する進路を見つけることができる。

#### 事前学習

前回講義内容復習

#### 事後学習

講義内容の復習

#### 授業計画

回	授業計画
第 1 回	キャリア発見①社会人とは「講義概要と目標、社会人基礎力について」
第 2 回	キャリア発見②キャリアデザインと目標「1 年間の目標を立てる」
第 3 回	キャリア発見③進路活動とは「進路活動に必要な情報や方法を知る」
第 4 回	自己分析①「私を表現しよう（私は〇〇です）」「他者から見た私（ジョハリの窓）」
第 5 回	自己分析②「自分を知ろう」金の糸すごろくでの振り返り、人生経験シートの作成
第 6 回	自己分析③「自分の適性を知ろう」レディネス職業検査で自分を知る
第 7 回	企業人交流会①「企業の方からキャリアを聞く」
第 8 回	進路活動準備①志望理由を作る（マイナビ登録、企業研究、NG 志望理由）
第 9 回	進路活動準備②履歴書を作る（作成ルール、手書き、経験要約）
第 10 回	進路活動準備③企業説明会に参加する（事前準備、当日行動）
第 11 回	進路活動準備④エントリーシートを作る（履歴書との違い、効果的な表現方法）
第 12 回	進路活動準備⑤選考体験をする（グループディスカッション、SPI 実践）
第 13 回	進路活動準備⑥面接体験をする（面接応答、グループ面接練習）
第 14 回	クラス内面接大会（エントリーシート、グループ面接 2 回実践にて評価）
第 15 回	期末試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

#### 教科書

著者名	講師作成資料
タイトル	
出版社	

#### 参考書

著者名	
タイトル	
出版社	

年度	2024	学期	後期
科目名	就職ケーススタディⅡ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース（全専攻）		
講師名	沢井 裕		

#### 講義概要

経済産業省が2006年に提唱している社会人基礎力（前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力）に必要な12（意思決定、協調性など）の能力を身に付け、社会人としての準備をすることを第一の目標とする。特に卒業後、職業人として市民として仕事や納税、冠婚葬祭などの場面でも適切な行動ができるよう講義を進める。

#### 達成目標

社会人として仕事場面において適切な行動を取ることができる。市民の義務としての納税や法律の知識を持ち責任を果たすことができる。家族の一員として冠婚葬祭等必要なイベントを把握して実行できる。

#### 学修成果

社会人として仕事場面において良い人間関係を作り仕事を円滑に行うことができる。市民として納税や法知識、地域の慣習を守り役割を果たせる。家族の一員として慣習的な行事を行い親戚等の関係を保つ。

#### 事前学習

前回講義内容復習

#### 事後学習

講義内容の復習

#### 授業計画

回	授業計画
第1回	キャリア発見①社会人とは「講義概要と目標、社会人基礎力について」振り返り
第2回	キャリア発見②キャリアデザインと目標「卒業後の目標を立てる」
第3回	キャリア発見③成人としての人生とは「成人後の人生特徴をエリクソンのライフサイクルにて」
第4回	社会発見①「お金の知識①生涯収入について」正規・非正規の違い
第5回	社会発見②「お金の知識②マネープラン」年金や税金、投資について（外部講師派遣予定）
第6回	社会発見③「守るべき法律について」社会人に不可欠な法知識
第7回	企業人交流会：「企業の方からキャリアを聞く」
第8回	社会発見④「時事問題：国内」人口減少、高齢化、労働人口不足など社会問題の理解
第9回	社会発見⑤「時事問題：国外」紛争、宗教、国際問題など社会状況の理解
第10回	特別講義：討論会「留学生との社会問題討論会」
第11回	社会実践①ビジネス文書「添え状やお礼状の作成」
第12回	社会実践②ビジネス敬語「メールや電話、報告の言葉遣い」
第13回	社会実践③冠婚葬祭「冠婚葬祭の種類及びマナー」
第14回	発表：私の社会人計画（テーマに合わせてスライド作成して発表）
第15回	期末試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

#### 教科書

著者名	講師作成資料
タイトル	
出版社	

#### 参考書

著者名	
タイトル	
出版社	

年度	2024	学期	前期
科目名	課程演習Ⅲ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアクエスト専攻		
講師名	沢井 裕		

#### 講義概要

秘書検定3級取得を目指し、会社における秘書の役割を理解していく過程で社会人としての基礎スキルや一般知識、適切な行動を習得し、社会で愛される人柄育成に努める。そのため、前半をスライドを用いたマナー理解学習、後半をその回で学習した過去問題を使用する。

#### 達成目標

秘書検定3級の合格を第一の目標とする。また、秘書検定知識を身につけることで、電話応対や敬語使用などの仕事場面で適切な対応をすることができ、人間関係を円滑にして、活躍ができる。

#### 学修成果

会社員としての考え方や立ち振る舞いがわかる。例えば、文書作成や電話、敬語など基礎的なビジネスマナーだけでなく、相手を尊重する複雑な人間関係において適切な選択ができる。

#### 事前学習

前回講義内容復習

#### 事後学習

講義内容の復習

#### 授業計画

回	授業計画
第1回	講義概要：秘書検定3級の合格基準の確認、「秘書とは何か」を通じた仕事イメージの形成
第2回	秘書のパーソナリティ（秘書としてふさわしい人柄、服装）
第3回	秘書の適切な応答（指示の受け方、電話や応対時の事例学習）
第4回	秘書の適切な対応（受付、廊下、会議室案内等）
第5回	秘書検定過去問題実践と解説及び実践ロールプレイ①
第6回	秘書検定対策①郵便書類取扱いと社内文書・社外文書
第7回	秘書検定対策②敬語とビジネス文書用語と意味
第8回	秘書検定対策③名刺取扱いと機密文書の取り扱い
第9回	秘書検定対策④弔事・慶事、贈答マナーと立ち振る舞いについて
第10回	秘書検定対策⑤会議準備と資料作成及びオフィス環境整備について
第11回	秘書検定対策⑥よく出るビジネス用語集クイズと解説
第12回	記述対策①絵を見てマナーの適当・不適當応答問題事例
第13回	記述対策②グラフ、メモ、文房具用語等問題事例
第14回	秘書検定過去問実践と解説及び実践ロールプレイ②
第15回	期末試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

#### 教科書

著者名	佐藤一明
タイトル	秘書検定2級に面白いほど受かる本
出版社	KADOKAWA

#### 参考書

著者名	
タイトル	
出版社	

年度	2024	学期	後期
科目名	課程演習Ⅳ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース MYキャリア専攻		
講師名	沢井 裕		

#### 講義概要

サービス接客検定3級取得を目指し、接客場面における従業員の役割を理解していく過程でサービス従事者としての基礎スキルや一般知識、適切な行動を習得し、社会で愛される人柄育成に努める。そのため、前半をスライドを用いたマナー理解学習、後半をその回で学習した過去問題を使用する。

#### 達成目標

サービス接客検定3級の合格を第一の目標とする。また、サービス接客検定知識を身につけることで、会計時や開店時など場面に応じてお客様への適切な対応をすることができ、人間関係を円滑にして、活躍ができる。

#### 学修成果

サービス従事者としての考え方や立ち振る舞いがわかる。例えば、電話対応や受付、商品案内などサービス場面における基礎的な接客応答だけでなく、相手を尊重する複雑な人間関係において適切な選択ができる。

#### 事前学習

前回講義内容復習

#### 事後学習

講義内容の復習

#### 授業計画

回	授業計画
第1回	講義概要：サービス接客検定3級の合格基準の確認、「サービス従事者とは何か」を通じた仕事イメージの形成
第2回	サービススタッフの資質①（必要とされる要件）
第3回	サービススタッフの資質②（従業の態度・行動）
第4回	専門知識①（サービスの意義・機能・種類）
第5回	専門知識②（サービスの商業用語・経済用語）
第6回	サービス接客検定過去問題実践と解説及び実践ロールプレイ①
第7回	一般知識（社会常識・時事問題全般の理解）
第8回	対人技能①人間関係（接遇に必要な知識とマナー）
第9回	対人技能②話し方（接遇用語や敬語を用いての対応）
第10回	実務技能①クレームなどの問題処理・環境整備
第11回	実務技能②金品の管理・社交儀礼の業務対応
第12回	記述対策①絵を見て対応の適当・不適當応答問題事例
第13回	記述対策②状況に合わせた張り紙、案内の作成問題事例
第14回	サービス接客検定過去問実践と解説及び実践ロールプレイ②
第15回	期末試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

#### 教科書

著者名	ユーキャンサービス接客検定研究会
タイトル	ユーキャンのサービス接客検定3級・2級・準1級 合格テキスト&問題集
出版社	ユーキャン学び出版

#### 参考書

著者名	
タイトル	
出版社	

年度	2024	学期	前期
科目名	特別演習Ⅲ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース（全専攻）		
講師名	佐藤 豪		

講義概要

日系・外資系企業で実践されている基本的な人事マネジメントを理解し、「評価・採用・報酬&福利厚生」のBasicな実態を共有する。極力実態に即した情報提供を基本とする。

達成目標

日系企業で実施されている基本的な人事政策・plan等を理解して頂く。人事論だけではなく、企業そのものの理解を進める

学修成果

2年生の就活時期に志望企業の報酬制度等を理解し「採用試験時に面接」で効果的面談(Q&A)が出来る事が予想される。

事前学習

前回講義内容復習

事後学習

講義内容の復習

授業計画

回	授業計画
第1回	自己紹介後、企業行動全体説明&人事部門の位置付け説明
第2回	企業経営にとって必要な要素とは（人事部の必要性）&理解その為にどのような準備が必要か検討する
第3回	人事マネジメントの構成内容分析とその枠割を理解すると共に企業のマネジメント方法も考察する
第4回	人事評価方法・評価表のコンテンツを理解する。個々の評価コンテンツの意義を理解して頂く
第5回	会社個人業績目標「MBO」の意義と中身を理解する。グローバル企業で活躍する為にもMBOを身近な指標として理解して頂く
第6回	賃金・労働との関係理解&賃金の中身（企業で賃金を得る楽しみ厳しさも理解して頂く）
第7回	賃金の設定方法・退職金制度の理解を検討する（試算方法を事前知っておくメリットを理解して頂く）
第8回	報酬の内的報酬&外的報酬：働きがいとは何かを理解する（なぜ働くのか！どうして！）
第9回	モチベーションUP方法（目標と報酬）を検討理解する。モチベーション創造が最も大事な事と理解して頂く。
第10回	会社における「順位・レベル順」とはどのような意味が有るのか？年功序列・職能資格制度とのどのような制度かを理解する
第11回	調和の思想も取り入れた人事評価制度の理解と検証。職務等級制度と役割級との違いの理解&これまでの授業の求め。
第12回	1～11の講義重要ポイント理解（基礎的人事管理とは）*1～6の講義理解
第13回	1～11の講義重要ポイント理解（基礎的人事管理とは）*7～11の講義理解
第14回	前期試験の重要ポイント理解と対策
第15回	期末試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

教科書

著者名	坪谷邦生
タイトル	人事マネジメント入門
出版社	デスカバー・タウンテーパーワン社

参考書

著者名	
タイトル	
出版社	

年度	2024	学期	後期
科目名	特別演習Ⅳ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース（全専攻）		
講師名	佐藤 豪		

#### 講義概要

グローバル企業で成功する為の「タイムマネジメント」の必要性和「コーチングノウハウ」理解を深め次のキャリア（大学進学・社会人）の準備を行う。＊時間は永遠では無く限られた資源である事を認識する事が極めて重要である。

#### 達成目標

これまで学んだ「Leadership/Management」をタイムマネジメント管理にも応用して頂きたい

#### 学修成果

日々の生活はもとより、次のキャリア形成でしっかり生かして頂きたい。今後は世界経済・政治は極めて厳し状況になる事を十分認識して進んで頂きたい

#### 事前学習

前回講義内容復習

#### 事後学習

講義内容の復習

#### 授業計画

回	授業計画
第1回	タイムマネジメントの基本的考え方と仕組みを学ぶ
第2回	仕事の無駄探しは時間の無駄！大事な仕事を見つける四つのキーワード
第3回	仕事の進め方の知識とコミュニケーションスキルが仕事のOS！
第4回	私の仕事は何か！気が付けば自分の時間が無い！等悲鳴が聞こえるのは何故か？
第5回	初めての仕事でどの様に行えばよいのか！その対処方法を考える（目標・チームコントロール）
第6回	四つのコミュニケーションの内「聞く・話す」事が重要である（音声情報・文字情報）
第7回	自分の思いを数字に置き換える。現実を変える目標設定法の理解を理解する（夢を実現する目標設定法）
第8回	チームデベロップメントの基本スキルを学習する。（コミュニケーション環境の創造）
第9回	部下が育たないのは優秀な上司のせい？ビジネスマンの欲求はコーチングで叶えられる！
第10回	部下の心が驚く程見えてくる選択理論心理学を共有し「上司と部下」の人間関係を理解する&部下の不満の対処方法
第11回	部下の能力を引き出すには叱責するよりも質問責めが効果的である。褒めて成長させることが大事である
第12回	仕事の醍醐味は理想と現実のギャップを埋める事である。
第13回	「タイムマネジメント・コーチング」重要ポイントの再確認
第14回	これまでの1回～13回までの総まとめと後期試験準備講義
第15回	期末試験

評価方法 定期試験：60% 小テスト・課題等：40%

#### 教科書

著者名	行本明説
タイトル	仕事ができる人のタイムマネジメント
出版社	東洋経済新報社

#### 参考書

著者名	佐藤 英郎
タイトル	プレーイングマネジャーの為のコーチング術
出版社	アーク出版